



▶ 7月7日！ゲンジボタル、THE LAST ONE？

5月12日に発生を確認したゲンジボタルですが、7月7日には久木池下流①の1個体のみになり、これが最後のゲンジボタルになるかも知れません。5月末から6月初に久木池下流①芝生広場を会場にした観察会では、発生ピークを少し過ぎていましたが、市民の皆さんの感動を呼び起こすに十分な数のゲンジボタルが飛翔してくれました。

ハイケボタルも発生ピークを過ぎており、これまでの例では7月末には終焉を迎えるものと思います。しかし、7月7日には久木池上流②で交尾個体、西の谷戸③で上陸する幼虫を確認、ゲンジボタルに比べてタフな(?)生態が垣間見られています。



7月4日、ゲンジボタル♀、久木池下流②
19時26分、同所で♀2個体確認、4月7日に上陸した幼虫が羽化した個体か!?



7月7日、ハイケボタル♂♀、久木池上流②、19時53分、交尾!



7月7日、ハイケボタル♀、西の谷戸②奥部、20時6分、産卵中と思われる。



7月7日、ハイケボタル、西の谷戸③、20時21分、幼虫上陸、8月に羽化!?



7月7日、スジグロボタル幼虫、東の谷戸①、21時、いつもの場所で現れるが、同一個体か!?



7月7日、ゲンジボタル繁殖水槽の孵化幼虫80個体を幼虫飼育水槽へ移入!

▶幼虫の上陸個体数と成虫の発生数について

私たちは 2021 年からホタルの幼虫の上陸調査に積極的に取り組んできました。調査のスキルが安定した 2022 年及び 2023 年のデータを用いて、幼虫上陸と成虫の発生との関係についてまとめました。下図に示すように、2 年間の成虫の発生数及び発生時期は幼虫の上陸の状況を概ね反映する結果となっており、調査の妥当性を裏付けるものであると考えています。種、気象条件、生息地点などでどう変わるのか!?

